

産地戦略

実施期間 令和6～10年度

実施主体 坂井地区園芸タウン推進協議会
都道府県 福井県
対象地域 坂井市、浜四郷地区
対象品目 ミディトマト



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

該当するものに●を付してください。

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

ミディトマト栽培は、栽培期間が長く、病害虫対策として化学農薬の使用回数が多い。
そこで、生物農薬（タバコカスミカメ）を導入することで、化学農薬の使用回数を減らし、環境にやさしい栽培技術として、地域へ普及拡大していく。

現在の栽培体系

生物農薬未利用

グリーンな栽培体系

生物農薬の活用（タバコカスミカメ等）

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R10	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	2.6	▶ 5	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	0.06	▶ 1.5	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	0.06	▶ 1.5	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0.06	▶ 1.5	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学農薬のみの防除	▶ 生物農薬（タバコカスミカメ）を活用したIPI	化学農薬の使用回数の削減 薬剤抵抗性の発生リスク軽減 防除回数低減による省力化

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	化学農薬の使用回数 (回)	21	▶ 16	現状の2割減
省力	防除にかかる作業時間	42	▶ 32	現状の2割減
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する
(有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする)

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

タバコカスミカメを使用した栽培試験の成績書を生産者へ情報共有する。
また、作見会で導入圃場を巡回し、効果を体感してもらう。

関係者の役割

関係者名	JA福井県	坂井市役所	坂井農林総合事務所	
役割	作見会の開催	技術導入に向けた支援	実証結果取りまとめ	

その他